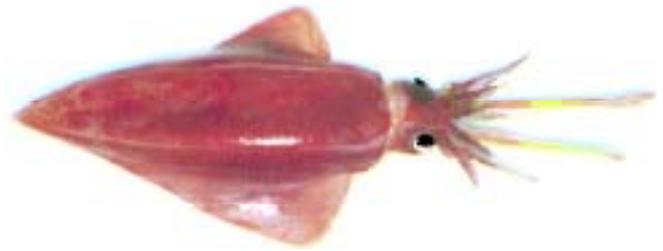


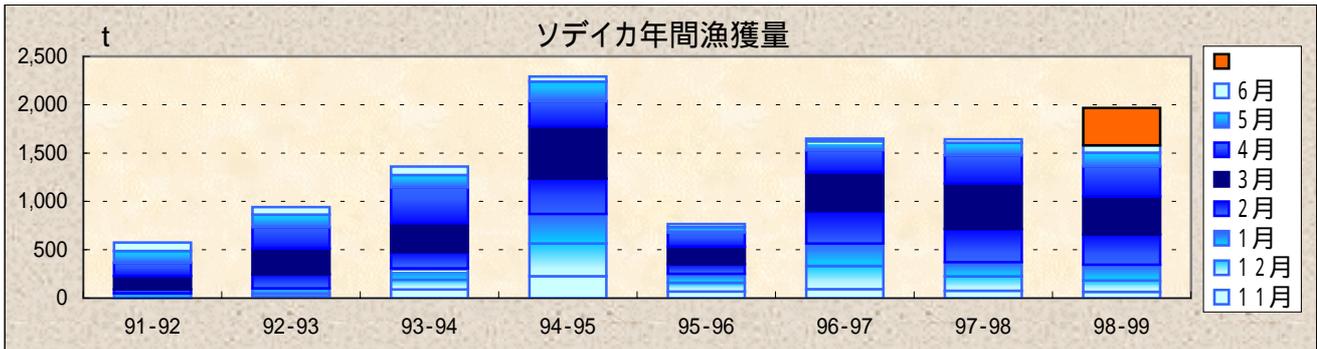
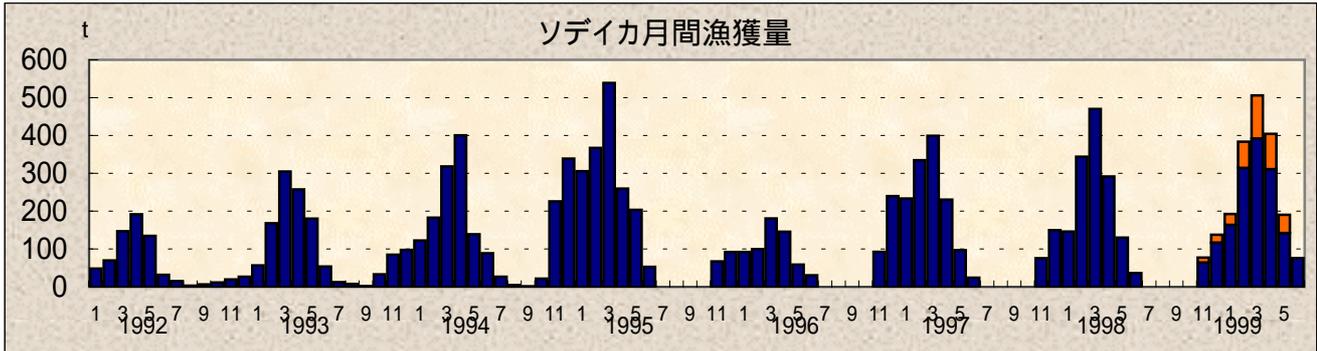
# ソデイカ情報 第5号



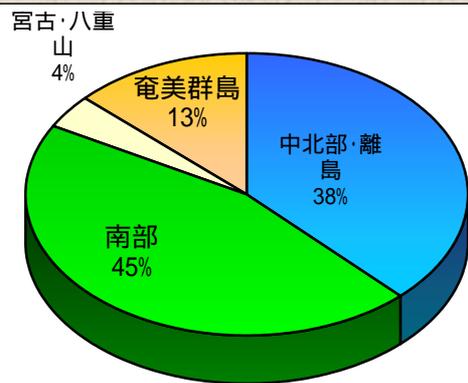
下の2つの図は、1992年から1999年における沖縄県全体のソデイカ漁獲量です。上側が月間漁獲量、下側が年間漁獲量です。98-99というのは、1998年11月から1999年6月の漁期を表します。

漁獲量は、水産試験場が毎月各漁協から提供していただいている市場情報を集計したものです。市場外出荷の多いいくつかの漁協については、これも加えました。98-99期は、それまであまりソデイカを漁獲していなかった漁協も相当ソデイカを漁獲し、市場外出荷しました。この量は正確にはわかりませんが、県漁連の集計結果によると、オレンジ色の部分になります。

ソデイカの漁獲量は毎年3月か4月に最も多くなります。94-95期は、これまで最高の漁獲量でしたが、翌年の95-96期は漁獲量は急減しました。その後は比較的安定して推移しています。



右の図は、98-99期の沖縄・奄美海域のソデイカ漁獲量約2,300tを4つ区域に分けて示しています。奄美海域では、今期は前期の2倍以上漁獲されたようです。日本海でも今期は好漁だった模様で、鹿児島水試の集計結果では、4,000t近い漁獲があったようです。



下の図は、1990年から1999年までの本島南部3漁協での月間漁獲量と月平均単価を示しています。ソデイカの単価は複雑に変動し、漁獲量と単純には関係していません。内地での需要や在庫状況に左右されるものと思われます。

